

# 大和川における住民啓発活動30年のあゆみ ～これからもみんなで川って 水も心もぴっかぴか！～

辻 智子<sup>1</sup>・古川 光里<sup>2</sup>

<sup>1</sup>近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課 (〒583-0001大阪府藤井寺市川北3-8-33)

<sup>2</sup>近畿地方整備局 企画部 企画課 (〒540-8586大阪府大阪市中央区大手前1-5-44)

観測史上最も劣悪な水質を記録した1970年に「かつての、子どもたちが泳いで遊ぶことのできるきれいな大和川を取り戻そう！」と始まった大和川クリーンキャンペーン。大和川の水質改善のため年間を通じて様々な啓発活動を行っており、昨年度30周年を迎えた。この取り組みの効果もあり水質は目に見えて改善。啓発活動は流域全体に広がり、近年は、各種団体がボランティア活動や地域のイベント等で主体的に取り組む啓発活動が増えている。大和川における住民啓発活動について紹介する。

キーワード 水質改善, 啓発活動, 住民・企業・行政の連携

## 1. はじめに

大和川は、1965年頃（昭和30年代）までは「泳げる川」であった。しかし、高度経済成長期頃から流域人口が急増。それとともに1965年頃（昭和40年代）から水質が大幅に悪化し、1970年には観測史上最も劣悪な水質を記録した。その後、水質改善に向け様々な取り組みが行われてきた結果、2008年以降、大和川代表地点の水質（BOD75%値）は6年連続で環境基準をクリアし、2005年には天然アユの遡上、その後はアユの産卵、そして2013年には奈良県域においても天然アユが確認されるなど、目に見えて水質が改善している。（図-1）

大和川の汚れの原因は、生活排水が約8割を占めており、その削減が水質改善には不可欠である。そのために流域住民に対し様々な啓発活動を行ってきた。水質改善の取り組みの中でも特にその「啓発活動」の成果について紹介する。

## 2. 水環境保全に係る流域連携の歩み

大和川の水環境保全に係る取り組みで特筆すべき点は、「流域連携」につきる。

1967年に水質に関する情報共有と水質事故の対応を目的に「大和川水質汚濁防止連絡協議会」を設立し、その後、1989年に水質改善の早期達成を目指し「大和川水系水質改善対策事業促進連絡会」を設立、1991年には大和川水質改善緊急5ヶ年計画（アクアロード大和川計画）を策定し、1994年に全国的な取り組みである「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21）」を策定し、2002年からは清流ルネッサンス21を引き継ぐ形で、「第二期水環境改善緊急行動計画（大和川清流ルネッサンスⅡ）」を策定した。

2005年には「大和川清流ルネッサンス協議会」と「大和川水質汚濁防止連絡協議会」を統合し、国・大阪

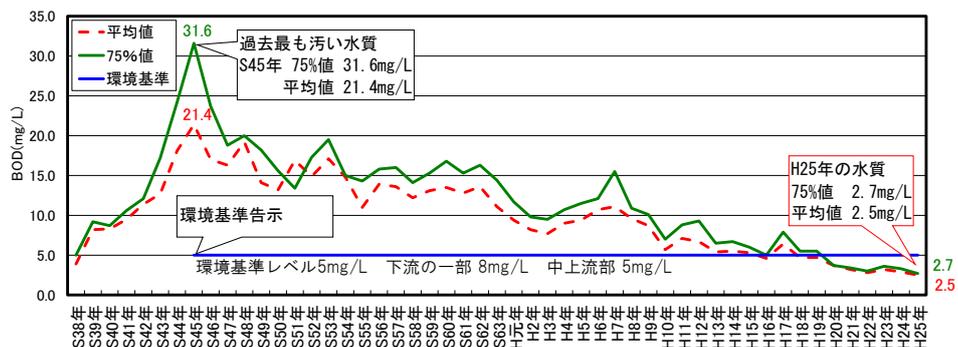


図-1 本川8地点のBOD年平均值、BOD75%値の経年変化

府と奈良県・流域36市町村から構成される「大和川水環境協議会」を設置し、2006年には大和川の水環境の再生加速を目的に、2010年を目標年とする「Cプロジェクト計画2006（水環境編）」を策定し、『生命・財産を守る安全で安心な大和川』、『次世代に伝える美しい大和川』、『地域を育む豊かな大和川』の大和川再生の目標像を掲げ、その実現に向け取り組みを進めてきた。現在は「大和川水環境改善計画」に基づき、「◇遊べる大和川」「◇生きものにやさしい大和川」「◇地域で育む大和川」を目標に、大和川水環境協議会が一体となって各種施策に取り組んでいる。

それら施策の中で、浄化施設等の施設整備だけでなく、住民、企業、行政が連携して水質改善の取り組みを行ってきたことは、大和川の水質改善に大きく寄与している。

### 3. 大和川クリーンキャンペーン

観測史上最も劣悪な水質を記録した1970年、「かつての、子どもたちが泳いで遊ぶことのできるきれいな大和川を取り戻そう！」と始まった大和川クリーンキャンペーン。大和川の水質改善のため年間を通じて様々な啓発活動を行っており、昨年度30周年を迎えた。

『子供が変われば親が変わり、親が変われば地域が変わり、地域が変われば大和川が変わる。』

大和川コンクールを中心とした取り組みはさらなる広がり、発展を続けている。

#### (1) 大和川【絵・ポスター・作文・写真】コンクール

幼児、小・中学生を対象として、1970年から絵の部、作文の部の募集から始まった大和川コンクールは、その後、1995年に写真の部（年齢不問）、2002年にはポスターの部（幼児、小・中学生対象）を追加し、応募総数は、28回目には10万点を超え、30回目の昨年度には107,782点に達した。環境教育の一環として応募する学校もあり、地域の環境学習として定着している。子どもたちが絵画等を作成することにより大和川への興味や愛着が増し、水環境に対する意識啓発が促進されている。

大和川コンクール応募作品を見ると、取り組み当初はよごれた大和川の作品が多かったが、近年では川での遊泳、生き物、きれいな風景を描いた明るい色調の作品が増えており、子供たちの大和川に対するイメージの変化を感じることができる。水質の向上とともに水環境の改善が目に見えた成果として現れている。（図-2）

#### (2) 水生生物観察会

水生生物調査は、水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するため、また環境問題への関心を高めるため、一般市民等の参加を得て全国で実施されているが、大和川流域では主に小学生を対象に「水生生物観察会」として実施している。（図-3）実際に川に入り生き物や川の水にふれた後は、身近な大和川の一番の環境問題である「水質」の課題について、その原因、改善のために自分たちができること等を学んでもらうことで、啓発につなげている。調査では、独自に編集した「自然観察ガイド」を活用している。（図-4）



図-3 水生生物観察会



図-4 自然観察ガイド

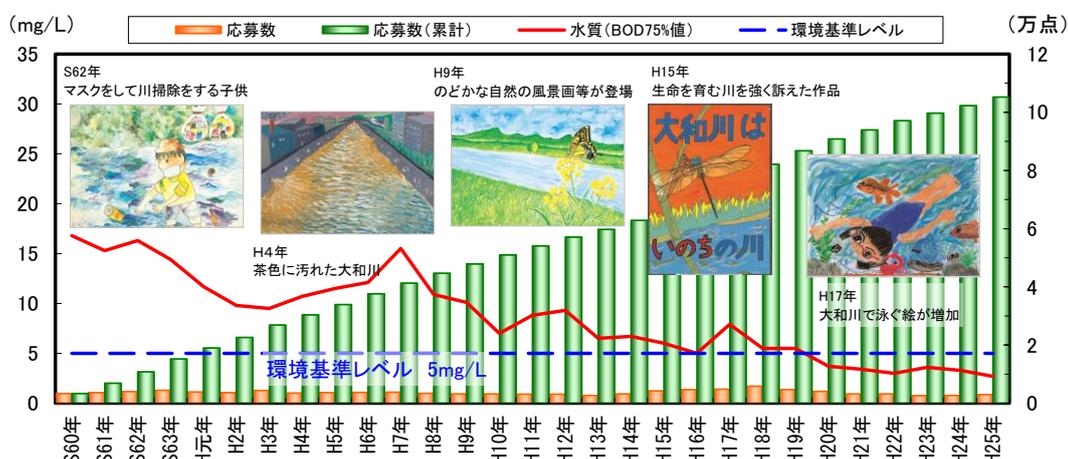


図-2 応募作品に見る、大和川の水質変遷

(3) CDST(若手職員による出前講座)

大和川河川事務所では、若手職員でCDST (Class Delivery Service Team) を結成し、総合学習のための出前講座を実施しており、大和川の歴史や治水だけでなく、環境についても学んでもらう機会となっている。クイズを交えた講座、水質パックテストの実技を通して水質悪化の原因や保全の取り組みを学ぶことで、講座を通じた水質環境保全への啓発につなげている。(図-5)



図-5 CDST

(4)水環境巡回パネル展

市町村が実施するイベントなどにおいて生活排水対策の必要性を啓発するパネル展を実施している。パネルは、水質悪化の原因や大和川の水質の変遷、今すぐできる保全のための取り組み等を紹介している。パネル展では、大和川コンクールの入賞作品も展示し、大和川に対する愛着を感じてもらえるよう工夫している。(図-6)



図-6 水環境巡回パネル展

(5)アクリルタワシ作製講座

生活排水の汚れを減らし、台所等における洗剤の使用量の削減効果があるアクリルタワシ。アクリルタワシ作製講座では、一人ひとりの生活排水対策の取り組みへの関心を高めるとともに、実際にアクリルタワシを作製・利用してもらうことで、啓発から実践へと直接結びつく取り組みとなっている。普及啓発は、住民団体と行政機関が連携して行っている。(図-7)



図-7 アクリルタワシ作製講座

(6)その他

その他、「大和川博士講座」と題し、大和川の水質悪化の原因から保全の取り組みまで、紙芝居形式と実演を交えた講座を前述のパネル展やアクリルタワシ作製講座等で実施したり、大和川コンクールの入賞作品と一次審査通過作品を展示して、大和川に愛着を持っていただく機会を設けたり、大和川の水環境に関する現状を共有し、産学官民が連携していくことを目的とした「大和川水環境改善活動発表・研究交流会」を開催している。

4. 水質改善強化月間

2004年度から2009年度にかけて延べ7回にわたり、大和川の水質が悪化しやすい2月に「大和川流域生活排水対策社会実験」を実施し、流域全体で生活排水の汚れを減らす取り組みや下水道接続の啓発のほか、奈良県域、大阪府域においてモデル地区を設定し、重点的な啓発や生活排水対策の取り組みとその実施状況に関するアンケート調査、排水路等の水質改善効果を把握する水質調査を実施してきた。これらの成果を踏まえて、2010年度には『水質改善強化月間』として、「残さない」「ふき取る」「流さない」を合言葉に、NPO や民間企業とも連携し、家庭からの生活排水軽減を呼びかける啓発活動を実施している。水質改善強化月間における各取り組みメニュー(図-8)への参加率は30%代で横ばいとなっており、

**水質改善強化月間**

5 8 3 8 7 9 0

大阪府奈良市青北3-8-33  
大和川水環境協議会事務局  
国土交通省 近畿地方整備局  
大和川河川事務所 河川環境課  
水質改善強化月間アンケート係 行

Q4.水質改善強化月間の取り組みに参加した、または参加しなかった理由などについて、ご自由に記入願います。

最後に、現在お住まいの市町村名をご記入ください。  
※可能でしたら、写真(1枚)も添付ください。

ご協力ありがとうございます。お手数ですが、  
3月31日(月)までに返信いただきますよう、お願い申し上げます。

**2月は大和川の「水質改善強化月間」取り組み実施中!**

**アンケートにご協力をお願いします**

このアンケートは、大和川の水質が悪化する2月の「水質改善強化月間」期間中に、大和川流域のご家庭で汚れた生活排水を少なくする取り組みにご協力いただくを把握するためのものです。  
・大和川流域の世帯を対象に電話から無作為抽出のうえ、このアンケートを発送しています。ご家庭内での普段の取り組みについてお答え下さい。(ご家族の方ならご家族で結構です)  
・アンケートは統計的に実施し、ご本人の住所などは一切入力しません。アンケート結果は大和川河川事務所のHPなどで発表する予定です。

**2月の一ヶ月間を対象に実施します**

チラシやポスター、自治体広報誌などで、ご家庭での取り組みとしてご協力にご協力ください。

<b>残さない</b>	<b>ふき取る</b>	<b>流さない</b>
食器洗いの残り油、洗剤を流さない	調理の残り油、洗剤を流さない	洗面・トイレの水、雑排水を流さない

お手数ですが、「選べるはがき」を切り手を貼らば、3月31日までに返送いただきますようお願い申し上げます。  
ご協力・ご返信を、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

〒730-0609 奈良市(10時~17時)

**大和川「水質改善強化月間」アンケート実施要項**

以下の外周について、あてはまる所に、「○印」をつけて下さい。

Q1.水質改善強化月間に、かいた記事を読みましたか?  
(有ればお名前を記入して下さい)

参加した(下記①の内容をすべて読んで)	読んだ
1.食器洗いの残り油、洗剤を流さない	<input type="checkbox"/>
2.調理の残り油、洗剤を流さない	<input type="checkbox"/>
3.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
4.洗濯機の水を流さない	<input type="checkbox"/>
5.お風呂の水を流さない	<input type="checkbox"/>
6.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
7.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
8.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
9.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
10.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
11.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
12.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
13.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
14.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
15.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>
16.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>

Q2.下記の汚れた生活排水を減らす工夫について、何れか読んでほめるものに「○」をつけて下さい。

内容	読んで	ほめる
1.食器洗いの残り油、洗剤を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2.調理の残り油、洗剤を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4.洗濯機の水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5.お風呂の水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16.洗面・トイレの水、雑排水を流さない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q3.あなたは、今回の水質改善強化月間のことを、何で知りましたか? ほめるものは「○」をつけて下さい。(複数回答可)

1.チラシ(入手経路: )	2.ポスター(入手経路: )
3.広報誌(入手経路: )	4.近所づきまり(入手経路: )
5.ホームページ	6.フェイスブック
7.四輪紙(地域)	8.その他( )

図-8 取り組みメニュー(アンケート用紙)



において無償でスペースを提供するなど取り組みに協力する企業、毎年河川の清掃活動・パネル展示等を実施する企業、堺市の河川敷に整備した「水辺の楽校」では、「大和川水辺の楽校協議会」（堺市）が毎年ゴールデンウィークに「大和川水辺の楽校まつり」を開催して水辺を活用するほか、「大和川セミナー」などの環境学習の場を設けるなどの活動を行っている。その他、独自に水生生物調査を実施する団体、自治体の環境に関する行事に参加する際には大和川コンクールや大和川の水質・生き物について紹介する団体、また、清掃ボランティアは個人から団体まで、多数の方が主体的に実施している。

大和川水環境協議会では、ゴミが付着した樹木を伐採し、景観改善対策とする美化活動をリレーのように流域全体に広げていくことを目的に「大和川リレー美化活動」を立ち上げた。「リレー」のたすきがつながるように、流城市町村にたすきがつながることを目指している。

(図-12)

## 7. これからのこと

水質の悪化という大和川のマイナス要因は、くしくも住民、企業、行政という大和川に関わりを持つ様々な組織や人々を結びつける、という結果につながった。各々ができること、できないことを理解し合い、支え合い、つながり続けることで、大和川は昭和30年代までの「泳げる川」になるのかもしれない。

大和川は多くの学識者の方々にも興味を持っていただいております。時には学術的知見に基づくご意見をいただくことも幸いである。また、最近では、大和川をフィールドに地域とのつながりを目指している大学生によるボランティア活動団体からの問い合わせなどもあり、新たな活動の時代に入る予感がしている。

今後も人と人とのつながりを大切に、目標とする大和川に近づけるよう水質改善に取り組む。



展示スペースを無償で提供



大和川水辺の楽校まつり



大和川リレー美化活動

図-12 主体的な活動の広がり事例